

JCNE助成金活用セミナー

「団体情報とは・・・」

(一財) 非営利組織評価センター 山田泰久
Twitter : @canpan2009
<http://www.facebook.com/yamadamay>

2022年11月Ver.01

プロフィール：山田泰久（やまだやすひさ）

一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事

寄付月間 推進委員会委員／共同事務局事務局長

一般社団法人全国コミュニティ財団協会 監事

イシス編集学校（松岡正剛氏主宰） 師範代

群馬県高崎市出身、慶應義塾大学文学部卒（フランス文学専攻）。

1996年日本財団に入会。2009年から公益コミュニティサイト「CANPAN」の担当になり、NPO×情報発信、助成金、IT活用、寄付をテーマに様々なNPO支援の活動に取り組む。

2016年4月、（一財）非営利組織評価センター（JCNE）の設立とともに、業務執行理事に就任し、非営利組織の組織評価・認証制度の普及にも取り組んでいる。

twitter: @canpan2009

Facebook <http://www.facebook.com/yamadamay>

note <https://note.com/yasuhisayamada>

CANPAN講座 <http://blog.canpan.info/c-koza/>

JCNE・NPOフォーラム <http://blog.canpan.info/cpforum/>

情報発信のこともやっています。

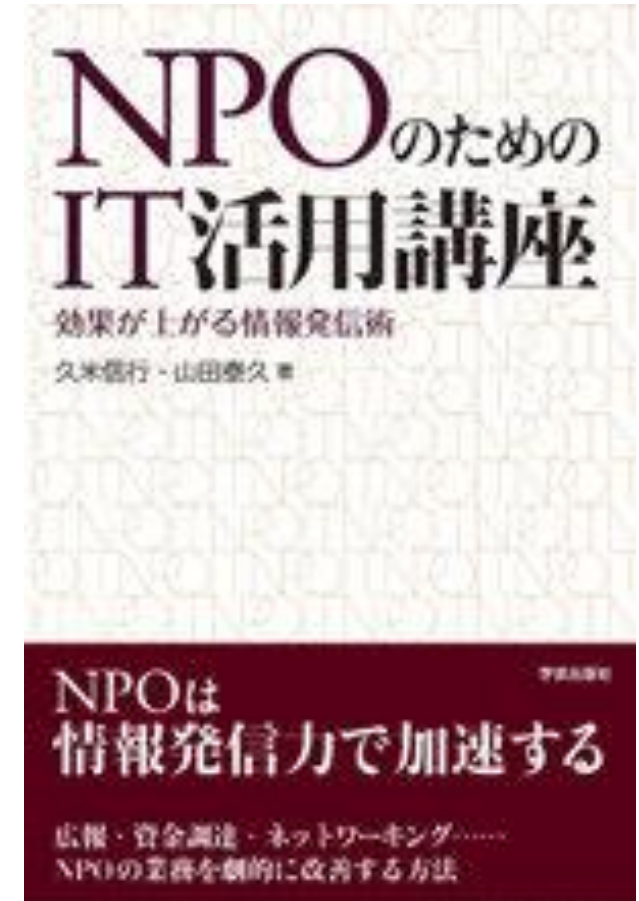
セミナーだけでは伝えきれないことを本にまとめました。

NPOのためのIT活用講座
～効果が上がる情報発信術
久米 信行 著 山田 泰久 著
学芸出版社
四六判・224頁・定価 本体1800円＋税



■■ 内容紹介 ■■

「お金が足りない」「忙しい」「どんな情報を発信していいかわからない」…そんなアナタに、無駄な手間とコストをかけず、個人・団体としての活用を使い分け、広報、資金調達、マーケティング、キーパーソンとのネットワーキングなど、NPOの業務に劇的な効果をもたらす方法を、二人の達人が豊富な事例をもとにお伝えします。



非営利組織評価センター（JCNE）

2016年4月1日、全国の非営利組織の評価を行うことで信頼できる組織の情報を広く社会に発信し、支援環境の充実に寄与するために非営利組織評価センター（JCNE）を設立しました。

チャリティの歴史が長い諸外国では、第三者である評価機関が寄付等を受けて活動する団体の運営状況を評価認証し、結果を公開しています。日本でも同様の非営利組織の評価が必要な時期になりました。

この非営利組織評価センターは民間セクターの手で作りたいという願いから、多くの団体に設立のご支援をいただきました。株式会社をはじめ助成財団、NPO、一般法人といった多様な設立発起人からのご出捐。そして賛同パートナーである助成財団からの応援を得ています。さらに5年後の自立を目指し事業運営には日本財団の助成をいただいています。

組織マネジメントに関する第三者評価



グッドガバナンス認証

JCNEの独自の評価基準に基づき、専門の評価員が団体を訪問し、ヒアリングや書類確認によって組織運営の状況进行评估しています。その評価結果をもとに、非営利組織の中でも組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの団体を認証しています。グッドガバナンス認証団体は外からは見えにくい組織内部の状況を第三者機関に開示して、信頼性・透明性の向上に努めている団体です。また、課題がある場合も見直し、改善をしていく姿勢や意欲のある団体でもあります。寄付をしたい、ボランティアとして参加したいという市民や企業の方が、期待をかけて支援ができる団体として紹介しているのが「グッドガバナンス認証団体」です。

https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/



グッドガバナンス認証

ベーシックガバナンスチェック

JCNEの独自の評価基準に基づき、団体運営の基本についてセルフチェックと提出書類をもとに簡易的に評価をしています。評価結果は「ベーシックガバナンスチェックリスト」で公開され、随時更新されます。継続的に第三者評価を受け、情報開示に積極的な透明性の高い団体として、JCNEは掲載団体への支援を推奨しています。

ベーシック評価基準23項目に基づく簡易的な組織評価です。

<https://jcne.or.jp/evaluation/outline/>

欲しい未来へ、 寄付を贈ろう。

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



一年の終わりに、考えたいのは未来のこと。

もっと楽しい未来。もっと優しい未来。

もっと平和な未来。もっと多様性が認められる未来。

そんな未来を手にするために、あなたの気持ちを寄付にしよう。

寄付は意思、寄付は投資、寄付は応援、寄付は願い。

寄付で未来は変えられるのです。

だから、「Giving December」。

一年の終わりに、未来を考え寄付をする。

そんな習慣を、はじめたいと思います。

欲しい未来を叶えてくれるさまざまな取り組みに、

あなたの想いを託しましょう。

さあ、年の終わりに、新しい「寄付」がはじまります。

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



寄付月間～Giving December～について

寄付月間とは

寄付の受け手側が寄付者に感謝し、また寄付者への報告内容を改善するきっかけとなり、そして多くの人が寄付の大切さと役割について考えることや、寄付に関心をよせ、行動をするきっかけともなる月間を制定する。

推進委員会

委員長 小宮山宏 三菱総研理事長/元東京大学総長

共同事務局長 山田泰久 一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事

民間非営利組織、企業、行政、国際機関などで寄付に関連する取り組みをしている全国代表的な機関の代表者が集まり、35名の推進委員会を構成 各法人の有志による共同事務局を設置して、寄付月間の統一ロゴ作成や各方面との連携による全国的周知による啓発活動、イベント開催や賛同パートナー（無料）の拡大などを行います

その他

・社会課題の解決のための寄付の促進が本委員会の設立の背景にあるが、寄付の定義は、寄付者個々人によって違いがあり、多様性を許容する観点から、寄付の定義について委員会としては明確な排他性をもたない。

・本委員会、寄付月間参加は、各主体の自発性に基づくものであり、何ら強制的な要素を含まない。また、特定団体や特定課題への寄付を要請するものではなく、委員会としての政策提言を目指すものではない。



いますぐ体験!



編集力チェック 無料

編集力とはどんなもの? イシス編集学校の稽古を無料で体験できます。ウェブから申し込むと「お題」がメールで送られてきて、回答を返信すると、師範代から指南コメントが届きます。

▶ <http://es.isis.ne.jp/web.html>



ISISエディットツアー

ブックサロンスペース「本楼」ほかユニークな書棚空間を巡りながら、編集的な体験を楽しむツアーです。映像や座談、ワークショップを交え、アタマもココロもやわらかくする2時間のプログラムで、「編集」のエッセンスを体感。イシス編集学校の編集稽古も体験できます。

● 毎月開催、日程限定。 ● Ticket: 1,500円(税別)

▶ <http://es.isis.ne.jp/edittour.html>



詳しくはイシス編集学校ウェブサイトをご覧ください。 <http://es.isis.ne.jp>

資料請求・お問合せ・お申込は

イシス編集学校 学林局

front_es@eel.co.jp

お話しをする前に・・・①

助成金に関する基礎知識は、以下のページの掲載資料参照

<http://blog.canpan.info/c-koza/archive/517>



【基本】初級～上級

1. 助成金の全体像を把握する

助成金の活用2014_セミナー資料_基礎編.pdf

2. 助成金というものがどういうものか、その基本を知る

助成金セミナー基礎編_日本財団荻上.pdf

3. 助成金申請から事業報告まで、助成金に関する一連の流れとやることを学ぶ

助成金活用マニュアル_日本財団荻上.pdf

【応用】中級～上級

4. 助成金を活用するという視点で、あらためて助成金の可能性について学ぶ

助成金の活用2017_セミナー資料.pdf

5. その他、申請から事業実施まで、助成金について参考なると情報を知る。

助成金の活用2014_参考資料.pdf

お話しをする前に・・・②

助成金について学ぶために参考になるサイトや資料など

1. (独法)福利医療機構 WAM助成

<https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>

助成金に関するノウハウ集や事業評価報告書など参考になる資料が豊富

2. あいちモリコロ基金の調査・評価(基金の運営&助成活動の成果)

https://www.morikorokikin.jp/7_chosa/chosa.html

10年間の助成プログラムの総括報告書が助成金の考え方を学ぶのに最適

3. IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

ソシオ・マネジメント第4号「成果を最適化するための助成プログラムのコミュニケーション調査」

NPOマネジメント(バックナンバー)

<http://blog.canpan.info/npomanagement/>

ソシオ・マネジメントは助成財団向けの内容だが、助成金をさらに詳しく学びたい方にお薦め。

本日も話すること

NPOが活用できる助成プログラムは何件くらいあるのでしょうか？

ざっくりとした数字ですが、全国規模のもので300～350件、都道府県域の地域限定のもので30～50件、350～400件程度の助成プログラムがあります。

申請事業の実現性を説得するのに大事なものは、団体情報となります。今回の講座では、この団体情報を紐解いていきます。申請書で必要とされる団体情報はどのような情報なのか、こういった点をアピールすればいいのか、申請前に用意しておくべき団体情報などを解説していきます。また、JCNEで実施した「助成金審査における団体情報の取り扱いに関するアンケート調査」に基づき、助成財団がどのような点を重視しているのか？なども解説します。

あわせて、組織評価による団体の基盤強化についてもご案内いたします。助成金を活用することで、どのように組織基盤強化につなげていくことができるのかを学ぶことができます。

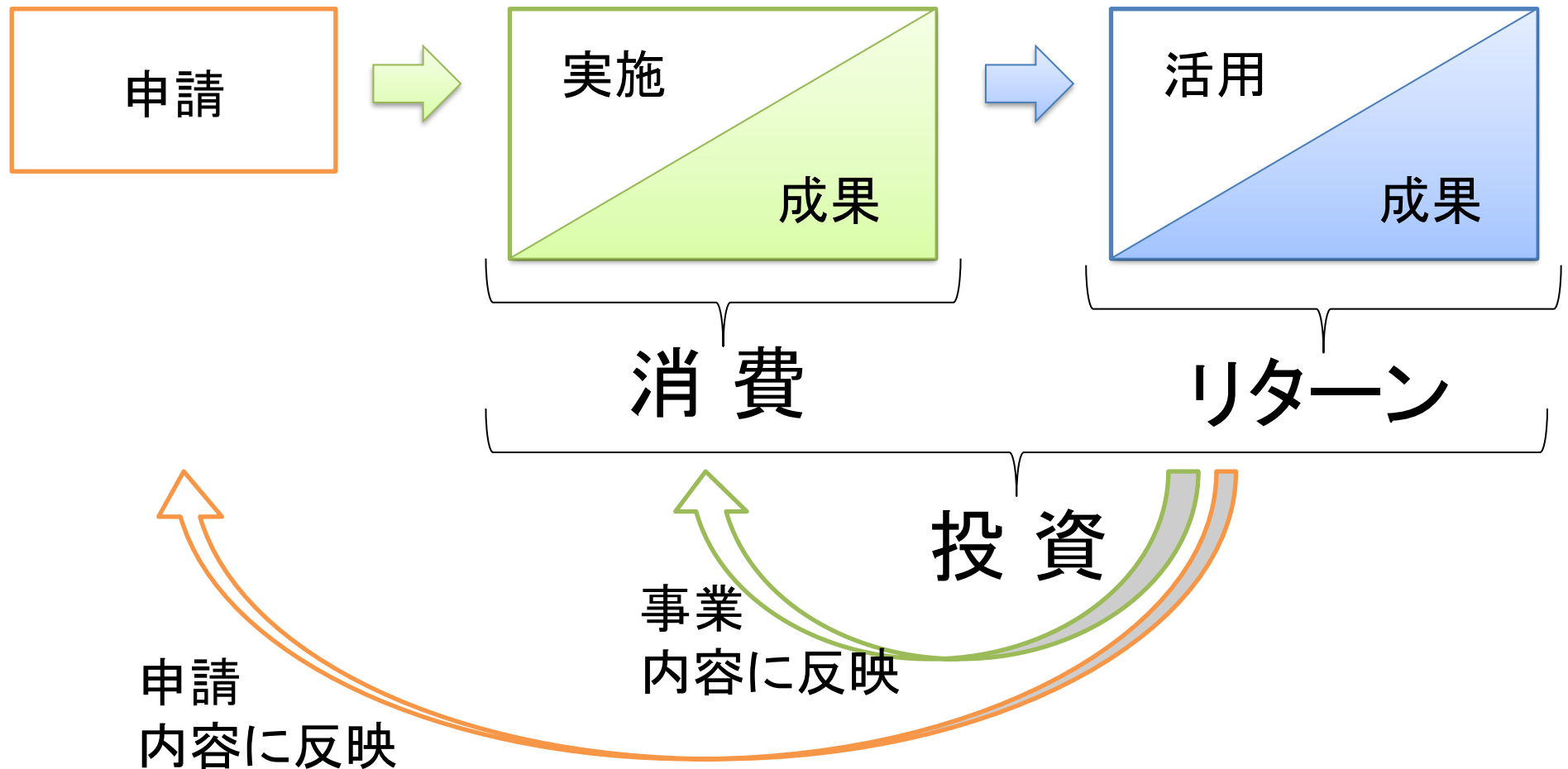
第1部：助成金に関する講義(40分)

第2部：ベーシックガバナンスチェックのご案内(10分)

第3部：質疑応答

助成金の活用

社会課題の解決の一助になることと、持続的に事業や組織を発展させていくことを目指して、助成金＋様々なリソースを投入すること



募集要項の構成

募集要項の構成

- ・説明文
- ・対象事業
- ・審査の視点
- ・条件設定

助成財団から見た募集要項の意味

- ①情報を伝える
- ②ふるいにかける
- ③申請書の精度を上げる
- ④周知啓発をする

募集要項の説明文から読み取ること

- ①社会をどのように捉えているのか？
 - ②何を解決したいのか？
 - ③なぜ助成を行うのか？
- ⇒助成財団の世界観

審査の視点

審査の視点＝申請書を読むためのポイント

事業を見る3つの視点

①社会の視点

社会(地域)状況の認識、ニーズ、緊急性、普遍性/独自性

②事業実施の視点

解決手法、即効性、波及効果

③組織の視点

実施体制、実施能力、影響力

審査の視点は本気度の高低がある

- ・本気度の高いものは申請書の項目に反映されている
- ・申請書の書式を深読みすることも大事

審査の視点の先駆性について、既にほかの団体がやっている事業でも、その地域で今までにないものであれば、先駆性があるともいえる。

【参考】（独法）福祉医療機構の審査項目

審査項目

（1）事業実施体制

→活動実績・財務状況

実施者適性、連携・協働

（2）事業の目的、内容等の妥当性

→事業の目的及び内容

計画の妥当性及び助成の効果

（3）費用対効果

→経費の妥当性

経費の合理性

（4）自立的継続性・将来発展性

→自立的継続性、将来発展性

助成の意義

団体情報の確認ポイント

1. 助成プログラムの条件からチェックした団体
 - 1) 募集要項に記載されている絶対条件
 - 2) 団体同士の比較条件
 - 3) 明記されていない審査基準
2. 申請事業の内容から審査した団体
 - 1) 事業のニーズと受益者
 - 2) 事業実施体制
 - 3) 団体の実績能力
3. ホームページやパンフ等の内容から判断した団体
4. インターネットや第三者の評判に基づく団体

助成とネット

時代の変化とともに助成金とネットのあり方が変わっている。

→募集要項、申請募集、助成決定事業一覧、事業報告、事業成果物など、インターネットを活用して行う時代に

→助成事業の成果として、同じような団体であれば、ネットでの情報発信力が高い団体のほうがより効果的な事業ができると判断されることも出てくる

申請する前に情報の整理を

- ・ホームページ上で、団体概要がわかりやすく掲載されている
- ・計画書と報告書、予算と決算がちゃんと掲載されている
- ・今の活動の様子がわかる
- ・外部のこういった人と連携しているのかがわかる
- ・これまでに助成金でどういう成果を出してきたのかがわかる
- ・ソーシャルメディアの活用状況がわかる

★ホームページやブログなどが、団体や活動、実績をアピールする素材に

★ネットでの情報発信力も審査のポイントになりつつある

申請する前に情報の整理を

情報発信の整理の目的

- 助成機関の担当者がネットで検索をした時に、魅力的な団体と感じてもらえるように
- 社会変革のためには、単独で行うのではなく、様々なセクターの関係者といかに協働で行うかが大事な時代になってきているので、そういった点もアピールポイントになる
- 更新されていないサイトやブログがある場合には、誤解が生じないように、そのサイトがクローズしたこと、移転したことを明確に表示する

申請する前に情報の収集を

どんな助成制度があるのかネットで調べる

→見方を変えて、活用できるかどうか、想像を膨らませる

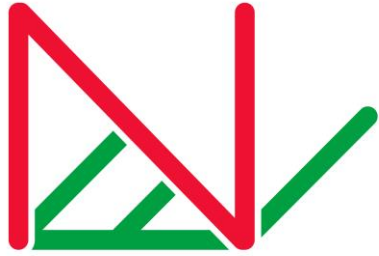
様々な助成制度の募集要項や申請書の書き方を読む

→考え方や視点を学んで、自団体の事業計画に役立てる

助成実績を調べる

→その助成プログラムの規模感、対象団体の種別、内容(事業名から推測)を感じ取る

→助成金額の規模から、こういった目的を持った助成金かを推測



**JAPAN
CENTER for
NPO EVALUATION**

助成金審査における 団体情報の取り扱いに関する アンケート調査

2022年9月12日(月)
一般財団法人非営利組織評価センター

実施概要

アンケートの目的

本アンケートは、NPOを対象にした助成プログラムにおいて、**審査担当者が申請団体の団体情報をどのように確認し、審査の中で活用しているのか**を明らかにし、**NPOの支援者（資金提供者）が団体情報をどのように取り扱っているのか、どの点を重視しているのか**の実態を調査することを目的として実施いたします。

調査結果は、NPO支援者層の中心となる助成財団等に対してノウハウとして提供するとともに、NPOのガバナンス向上や基盤強化の参考となるように情報提供を行います。

回答について

【お答えいただいた助成プログラムについて】

- ・2021年度に実施したプログラムについてお答えいただきました。
- ・助成プログラムが複数ある場合は、プログラムごとにご回答いただくか、主な助成プログラムを一つを選んでご回答いただきました。（アンケート内では特定の助成プログラム1つについて回答）

【ご回答者について】

- ・団体内で、運営している助成プログラムについて把握されている方にご回答をお願いしました。
- ・「回答いただく内容は団体としての公式見解ではなく、ご担当者としてのご意見で構いません」とご案内しました。

実施概要

方法

マクロミルQuestantを用いてアンケートを配信。

実施概要

調査期間	2022年6月14日(火)～2022年8月11日(木)
対象者	JCNEとこれまでに接点のあった助成財団、助成を実施している企業、コミュニティ財団、 休眠預金資金分配団体等
回収率等	配信数：75団体 回答数：29団体 30助成プログラム 回収率：38.7%

2022年9月15日

**【お知らせ】助成金審査における団体情報の取り扱いに関するアンケート調査
調査レポート(ダイジェスト版)の公開**

<https://jcne.or.jp/2022/09/15/grants-report2022/>

【参考】
CANPANの
団体情報データベース
～助成金申請の
団体情報として活用～

CANPANについて



<http://fields.canpan.info/>

公益団体のための情報発信サイト

- NPOの情報発信プラットフォーム
- 全国規模の助成制度のデータベース
- 助成金申請のための団体情報



CANPAN団体情報の項目

CANPAN団体情報は、主要な助成プログラムの申請書で求められる情報と、国の定める標準開示フォーマットの項目で構成されています。



ユーザー登録する ログインする

Google™ カスタム検索 検索 ×

トピックス ブログ 団体情報 事業成果物 助成制度 ヘルプ

詳細情報

基礎情報・活動概要・活動実績 ▶

財政・収支報告書・貸借対照表 ▶

組織運営・行政提出情報 ▶

添付資料 ▶

▶ 詳細情報を1画面で見る

登録コンテンツ

トピックス ▶

事業成果物 ▶

助成制度 ▶

この団体のブログを見る

団体情報 / 団体詳細

特定非営利活動法人特定非営利活動法人せんたい・みやぎNPOセンター

基礎情報

団体ID	1095174734
法人の種類	特定非営利活動法人
団体名(法人名称)	特定非営利活動法人せんたい・みやぎNPOセンター
団体名ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんせんたいみやぎえんどうふりせん
情報開示レベル	★★★★★
第三者認証マーク	 認証日: 2008年5月22日 認証日: 2009年10月1日
団体のアビ	んでいます。インターミディアリー(中間)という行政系支援施設の管理運営を担事業による財源を確保しつつ、全体での事業

代表者役職

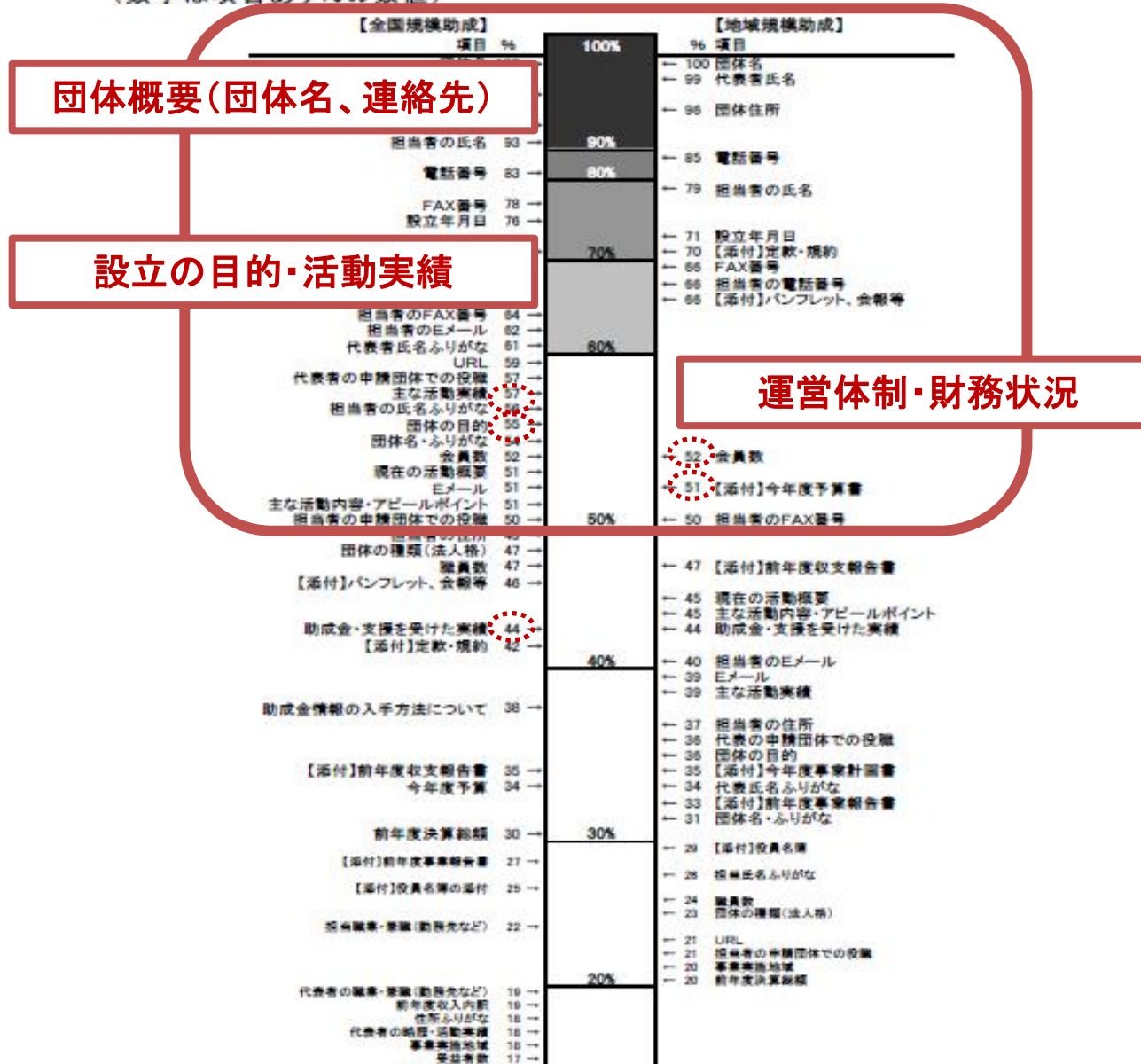
代表者兼職	東北大学大学院経済学研究科教授(大滝)
代表者氏名	大滝 裕一 / 紅邑 晶子
代表者氏名 ふりがな	おおたきせいいち べにむらあきこ
代表者ホームページ(ブログ)URL	http://blog.canpan.info/katatsumuri/

助成プログラムの申請書

標準開示フォーマット

資金提供者が知りたい情報

【図表3】「全国規模助成」「地域規模助成」における項目の設問頻度ランキング
(数字は項目あり%の数値)



91機関・133の助成プログラム(計338億円)の申請書・報告書の「申請団体に関する情報」の項目を集計・分析

• これを元に、常に約5割以上聞かれている項目を中心に作成したのがCANPAN団体情報

※IIHOE「2009年助成申請書の団体基礎情報に関する、地域規模・全国規模助成の比較調査報告書」

行政が求める情報

新しい公共支援事業／標準開示フォーマット

標準開示フォーマット（特定非営利活動法人用）
（案）

報告年月日

報告者氏名

当該法人における役職

1. 組織情報

■ 法人名称

■ 所轄庁

■ 主たる事務所の所在地

■ 従たる事務所の所在地

■ 代表者氏名

■ 法人設立登記年月日

■ 定款に記載された目的

■ 活動分野

☐ 保健・医療・福祉	☐ 社会教育	☐ まちづくり
☐ 学術・文化・芸術・スポーツ	☐ 環境の保全	☐ 災害救援
☐ 地域安全	☐ 人権・平和	☐ 国際協力
☐ 男女共同参画社会	☐ 子どもの健全育成	☐ 情報化社会
☐ 科学技術の振興	☐ 経済活動の活性化	☐ 職業能力・雇用機会
☐ 消費者の保護	☐ 連絡・助言・援助	

■ 事業活動の概要
（400字以内）

公開用電話番号

■ ファクス

■ ホームページ

■ メールアドレス

■ 常勤職員数

■ 認定 ☒ （認定NPO法人の場合は、チェックを入れ、以下の項目も入力）

認定年月日

認定満了日

☐ 相対値基準 ☒ 絶対値基準 ☐ 条例指定 ☐ 仮認定

■ 開覧書類の添付 ☒ 定款

	事業報告書	財産目録	貸借対照表	活動計算書 収支計算書
平成99年度	☒	☒	☒	☒

※開覧書類がインターネットで公開されている団体につきましては、当該ウェブページのURLを併記ください。

- ・「新しい公共」の自立的な発展の促進のための環境整備を進めることとされ、平成22年度補正予算87.5億円
- ・小さな政府の流れの元に、行政の業務をNPOに移管していく動き
- ・財務状況を含めた透明性が求められ情報開示が重要視されている
- ・そこで定められたのが標準開示フォーマット
- ・CANPAN団体情報はリニューアルでこれに対応

団体の信頼性をアピールする方法①

情報開示レベル

[ユーザー登録する](#)
[ログインする](#)

[トピックス](#)
[ブログ](#)
[団体情報](#)
[事業成果物](#)
[助成制度](#)

詳細情報

- 基礎情報・活動概要・活動実績
- 財政・収支報告書・貸借対照表
- 組織運営・行政提出情報
- 添付資料

詳細情報を1画面で見る

登録コンテンツ

- トピックス
- 事業成果物
- 助成制度

この団体のブログを見る

団体情報 / 団体詳細

特定非営利活動法人特定非営利活動法人 せんだい みやぎNPOセンター (団体ID: 1095174734)

基礎情報

団体ID	1095174734
法人の種類	特定非営利活動法人
団体名(法人名称)	特定非営利活動法人 せんだい みやぎNPOセンター
団体名ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんせんだいみやぎえぬびーおーせんたー
情報開示レベル	★★★★★

せんだい みやぎNPOセンター

チャリティ・プラットフォーム

第三者認証マーク
 認証日: 2008年5月22日
 認証日: 2009年10月1日

団体のアピールポイント

当センターは、地方における民間系サポートセンターとして独自の道を歩んでいます。インターメディアリリー(中間支援組織)としての幅広い機能を持ち、仙台市市民活動サポートセンターという行政系支援施設の管理運営を担いながら、本体のサービスとの間に役割分担と連携を確立し、独自の事業による財源を確保しつつ、全体での事業展開をしています。

代表者役職	代表理事
代表者兼職	東北大学大学院経済学研究科教授(大滝)
代表者氏名	大滝 裕一 / 紅邑 晶子
代表者氏名ふりがな	おおたきせいいち べにむらあきこ
代表者ホームページ(ブログ)URL	http://blog.canpan.info/katatsumuri/

主たる事務所の所在地	郵便番号	980-0804
経度	緯度	

- ・入力量に応じて自動的に★が増えます
- ※最低限の情報を記入している→★1
- 必要な情報をほぼすべて記入している→★5
- ・★5がCANPANメンバーズの要件

あらためてCANPANの団体情報

- この登録項目は国内助成プログラム約130の申請書フォームを元に、共通する約8割の項目を中心に構成されています。
- 登録した情報量に応じて情報開示度レベルを示す★マークや信頼性を示す認証マークが付きまます。
- 団体情報は以下の構成になります。
 - ▽基礎情報・活動概要・活動実績
 - ▽財政・収支報告書・貸借対照表
 - 3年分の財務情報
 - NPO会計基準書式
 - ▽組織運営・行政提出情報
 - 新しい公共支援事業「標準開示フォーマット」
 - ▽添付資料
- 代表者氏名が「姓」と「名」にわけて入力する形になりました。

団体情報の添付書類

- 決算報告書やパンフレットなどを添付資料として登録（アップロード）します。
 - 定款、会則、最新役員名簿、パンフレット、入会申込書、退会申込書、
会員情報変更届、研究費・助成金申請書
(年度別添付資料：計3年分)
 - 事業報告書と事業計画書、予算書類
- 書類種別で「画像」としてアップロードした場合は団体詳細ページに画像が表示されます。
- 添付可能なファイル拡張子
 - ・ 画像・・・GIF、JPEG、JPG、PNG（書類種別で画像を選択してください）
 - ・ 音楽・・・MP3、MID、WMA
 - ・ ドキュメント・・・PDF、TXT、CSV、DOC、DOCX、XLS、XLSX、PPT、PPTX

※1ファイル10MBまで登録可能です。

助成金とは・・・

樹木は育成することのない
無数の芽を生み、
根をはり、枝や葉を拡げて
個体と種の保存にはあまりあるほどの
養分を吸収する。

樹木は、この溢れんばかりのの過剰を
使うことも、享受することもなく自然に還すが
動物はこの溢れる養分を、自由に
嬉々としたみずからの運動に使用する。

このように自然は、その初源からの生命の
無限の展開にむけての秩序を奏でている。

物質としての束縛を少しずつ断ちきり、
やがて自らの姿を自由に変えていくのである。

**“デンマーク王子アウグステンブルク公にあてた
美学的なことに関する書簡第27号より一部を抜粋”
フリードリヒ・フォン・シラー**



横浜／ランドマークタワー